

市議会だより

75



～「全国まるごとうどんエキスポ2023」開催される～

9月30日～10月1日の2日間にわたり、今回から会場を稲庭うどん発祥の地である稲川地域に移し盛大に開催されました。当日の来場者数は、約7万人を記録し、秋晴れと賑わいの中でそれぞれがお気に入りのうどんに舌鼓みを打っていました。

第3回定例会

特集：議会改革推進会議の取り組みから
 稲庭うどん振興条例・政策提言……………P.2・3
 一般質問・8月臨時会概要……………P.4～9
 議案審議(定例会・補正予算概要)、関係私企業…P.10・11
 議決結果一覧表……………P.12～13
 総括質疑……………P.14～15
 出張!!なんでも意見交換会【市役所若手職員×教育民生常任委員会】
 「産業建設常任委員会」議会からのお知らせ…P.16～17
 「議員としゃべろうマチトーク!!」…P.18～19
 委員会行政視察報告……………P.20～21
 議会のうごき ほか……………P.22

ちいき本棚

スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧いただけます。



マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で「ゆざわ市議会だより」がご覧いただけます。



の取り組みから

「稲庭うどん振興条例」が 議員提案で制定されました！



全国うどんエキスポのオープニングで
条例が披露されました

9月22日（金）に議員提案により「稲庭うどん振興条例」が可決され、9月26日から施行されました。

この条例は、条文に掲げられているとおり、市民の皆さんが「稲庭うどん」に親しみをもち、それぞれの立場で「稲庭うどん」に関して意識を高め、伝統、食文化、産業を守り、「稲庭うどん」を次世代に継承していくための施策として取り組みました。この条例が、ひとつの象徴となり今後ますます、発展振興されていくように、議会及び議員の役割を果たしながら見守ってまいります。

議会改革推進会議とは

市民との意見交換会や地域での活動、請願・陳情など、様々なご意見を参考としながら政策テーマを決定し、政策立案・政策提言を積極的に実施していくための仕組みです。

「稲庭うどん振興条例」全文

稲庭うどんは、湯沢市に江戸時代初期から伝わり、永い歴史の上に脈々と受け継がれ、現在は日本三大うどんの一つとして、その本場・産地として揺るぎなく存続している。私たちは、このことを尊重し、かつ、最大限に活かし、郷土の誇りとして将来にわたり守り育て、これまで以上に市民が稲庭うどんに親しみ、伝統ある食文化として後世へ伝承していくという認識の下に、稲庭うどんの普及促進と地域経済の発展を目指すため、この条例を制定する。

【目的】

第1条 この条例は、湯沢市内で製造される稲庭うどんの消費拡大、稲庭うどんに関連する産業の発展及び郷土愛の醸成を図り、稲庭うどんの普及促進を通じた地域産業の振興及び持続可能な地域ブランドの確立に寄与することを目的とする。

【市の役割】

第2条 市は、稲庭うどんの消費拡大及び普及促進に積極的に取り組み、多種多様な活動と連携して市の活力を高めるとともに稲庭うどんの認知度の向上に努めるものとする。

【議会及び議員の役割】

第3条 議会及び議員は、主催又は参画する会食等において、稲庭うどんを積極的に活用し市民の先頭に立って発信するとともに、稲庭うどんの普及推進・環境整備に資する調査研究、政策の立案・提言に努めるものとする。

【事業者の役割】

第4条 稲庭うどんに関する事業を行う者（以下「事業者」という。）は、稲庭うどんの消費拡大及び普及促進を図るため、稲庭うどんの伝承に加えて品質向上とイノベーションに主体的に取り組むとともに、市及び他の産業に関する事業を行う者と相互に協力するよう努めるものとする。

【市民の協力】

第5条 市民は、稲庭うどんの歴史と伝統に愛着と誇りを持ち、これを食し、市及び事業者が行う稲庭うどんの普及促進に関する取組に協力するよう努めるものとする。

附則

この条例は、公布の日から施行する。



湯沢市が全国に誇る
特産品「稲庭うどん」

議会改革推進会議

常任委員会が政策提言書を提出しました

9月22日第3回定例会最終日、湯沢市議会基本条例に基づき設置した議会改革推進会議の取り組みの成果として、各委員会から政策提言書を佐藤一夫市長へ提出しました。



渡部議長が提言書提出について説明しました

総務財政常任委員会

地域防災力の向上に関する提言書



1. 地域づくり活動と地域防災活動を一体的に推し進める体制整備

- (1) 日常の身近なつながりを活かした防災活動の奨励
- (2) 地域づくりと防災活動を一体として支援する体制整備

2. 議会中継システムを活用した災害時の情報提供

教育民生常任委員会

少子化対策に関する提言書



1. 20代、30代女性に選ばれる

- (1) 住み方の支援
- (2) 働き方の支援
- (3) 過ごし方の支援

2. 学校教育で選ばれる

- (1) 専門性の高い教育の充実
- (2) 英語教育の充実



各委員会の提出した提言書はこちらから

産業建設常任委員会

ゆざわジオパークに関する提言書



1. 市民や関係団体とジオパークの目指すビジョンの共有を行うこと

- (1) ジオパーク構想における目標・行動計画ごとに細かなKPIを導入すること

2. ジオパーク組織機構の見直しと必要な職員配置を行うこと

- (1) 長期的及び立候補での職員配置を行うこと
- (2) 新しい構想に対応した組織機構とすること

3. 地熱・ジオパーク・ゼロカーボンを相互に活かした教育旅行誘致の推進をすること

- (1) 地熱・ジオパーク・ゼロカーボンを活かした教育旅行に特化したコースの開発をすること
- (2) 隣県主要都市までの学校教育関係者に対しての教育旅行をPR強化すること
- (3) ゼロカーボンの取組を積極的に進めること

市長から一言



提言書をうけ、佐藤市長から「本市の直面する課題に具体的な提言をいただいた。全職員で共有、検討し、できることから着実に進めていきたい。」との言葉がありました。

令和5年

第3回 定例会

第3回定例会が、8月30日から9月22日までの24日間の会期で行われました。

9月6日、7日に開かれた本会議では、9人の議員が一般質問を行い、市政全般について市当局に質問しました。質問項目と答弁を要約した内容は次のとおりです。

一般質問

質問項目と答弁を要約した内容は次のとおりです。

 各議員の一般質問の様子を、YouTube動画でご覧いただける二次元コードを掲載していますので、ぜひご視聴ください。

	議員名 ※(質問方式)	質問項目	ページ
9月6日	高橋 肇 (一括)	◇インバウンドの誘客について ◇防災・減災対策について ◇自転車の交通事故への安全対策について ◇LGBT理解増進法の推進について	P. 5
	寺田 純二 (一括)	◇本市独自の物価高騰対策について ◇本市の情報発信力について ◇子ども達の安全・安心な環境づくりについて ◇音楽のまち“ゆざわ”について	
	柏原 久寿 (一括)	◇防災危機対策の推進について ◇農業施策について ◇観光産業について ◇道の駅おがち「小町の郷」周辺整備事業について	P. 6
	小田嶋秋一 (分割)	◇マイナンバーへの取組について ◇DXの進捗状況について ◇豪雪時の落雪事故防止について ◇ICTを活用した授業の実施状況について	
	佐藤 功平 (一括)	◇市町村合併の効果について ◇ゼロカーボン推進に向けた取組について ◇武石教育長の教育行政方針について	P. 7
9月7日	石川 隆一 (分割)	◇地球温暖化対策事業について ◇ゆざわジオパーク事業の推進について ◇山田地区の学校再編計画について	P. 8
	沓澤 正雄 (分割)	◇稲川野球場グラウンド等整備改修工事について ◇通学支援について ◇旧駒形小学校の利活用について ◇湯沢駅周辺複合施設等整備事業について	
	加藤 昭嗣 (分割)	◇賑わいの創出と活性化策について ◇デジタル変革推進事業について ◇除排雪について	P. 9
	宮原 晃 (一括)	◇マイナンバーカードについて ◇水稻新品種「あきたこまちR」について	

※一括質問方式…全ての項目を一括して質問し、一括して答弁を求める方式
分割質問方式…質問項目ごとに分けて質問し、その都度答弁を求める方式

一般質問

◆インバウンドの誘客について

質問 12月からの台湾との

チャーター便就航について、本市をどのよう売り込みし、集客につなげるのか伺う。

【答弁】台湾の方々は雪に魅力を感じるということから、犬つこまつりに、稲庭うどん、川連漆器制作体験、温泉などを組み合わせた魅力ある観光モデルを提案する。

◆防災・減災対策について

質問 本市における内水氾濫予想箇所について伺う。

【答弁】大規模な内水氾濫が発生する可能性は低いと考えるが、自然災害に対して想定外は設けず、日頃から関係機関との連携を深め対策を行っていく。

◆自転車の交通事故への安全対策について

質問 4月から年齢を問わずヘルメット着用が努力義務化されたことから、着用の必要性の周知と購入促進のための費用補助をすべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】自転車を取り巻く環境の

変化を注視し、危険運転防止など県と連携した周知を行い、必要となる支援についても今後検討していく。

◆LGBT理解増進法の推進について

質問 性的マイノリティに対する今後の取組について伺う。

【答弁】市民、職員、学校、企業等に対する啓発と併せ、相談体制等の環境整備に努めていく。

質問 児童・生徒においてもLGBTの理解を深めることが重要と考えるが。

【教育長答弁】児童・生徒個々が活躍できる場を作っていくためにも、LGBTを含めて多様性の理解に努めていく。

◆本市独自の物価高騰対策について

質問 生活必需品の物価高騰や電力、エネルギー価格の高騰が家計の負担になっているが、子育て世帯に対する支援対策について伺う。

【答弁】物価高騰対策事業として、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を支給している。国の基準では、令和6年2月末までに生まれた子供を支給対象としているが、市独自の支援策として令和6年3月末までに生まれた子供についても対象とするよう拡充している。学校給食費についても、食材価格の高騰分を市が全額負担することとし、子育て世帯の皆様新たな負担が生ずることのないよう取り組んでいく。

◆子ども達の安全・安心な環境づくりについて

質問 市内の中学校では、自転車通学の際にヘルメットの着用が義務付けられているが、中学校入学前にヘルメットの無償配付もしくは購入費の補助が出来るか伺う。

【答弁】現時点では、小・中学校



寺田 純二 議員

湯沢市議会 YouTubeチャンネル QRコード

入学時のヘルメット無償配付や補助の予定はないが、今後、児童・生徒のヘルメット着用状況を把握し、安全確保の面から着用促進に向けた支援制度について検討していく。

質問 湯沢南中学校生が自転車通学をする道路の一部で、路側帯の幅が狭く非常に危険な箇所があるが、改善の余地はあるのか伺う。

【答弁】通学路の改善については、国・県・市の道路担当者、警察署の関係者などで構成する通学路安全推進会議を、毎年7月と12月に行っている。危険箇所を合同で現地確認するなど、より安全な通学路の確保に向け取り組んでおり今後も継続していく。



高橋 肇 議員

湯沢市議会 YouTubeチャンネル QRコード

一般質問

◆農業施策について

質問 化学肥料低減定着対策の取組について伺う。

答弁 国が示した基本取組メニューは農業者へ直接交付されるものが少なく、ほとんどが間接的な事業者向けの内容となっていることから、施肥効率を向上させる機械、機具を導入する農業者への支援を選択した。

質問 新規就農者支援および担い手確保対策について伺う。

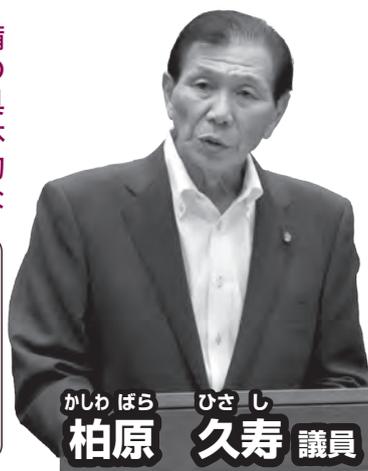
答弁 新規就農者に対してはサポートチームを編成し、就農前の相談から就農準備、経営指導、農地のあっせんまで一貫したサポートを行っている。担い手確保対策については、令和6年度末までに地域の話し合いにより必要な担い手を明確にする地域計画の策定を進めている。

◆道の駅おがち「小町の郷」周辺整備事業について

質問 防災機能強化の具体的な整備内容について伺う。

答弁 備蓄倉庫の設置、災害時対応トイレや災害情報の発信拠点施設の整備等を検討している。

質問 小町の郷公園内の造園整



かしわ ばら ひさし 柏原 久寿 議員

備の具体的な内容について伺う。

答弁 道の駅駐車場の拡張に伴い小町芍薬苑が現在地での営業を終了する予定となっているため、芍薬の花を引き続き楽しんでいただけるよう公園内の北側に植栽整備を行う予定である。

質問 今回の道の駅リニューアルと周辺整備を地場産業振興・観光誘客強化につなげるための具体的な方策について伺う。

答弁 道路利用者の単なる休憩施設としてではなく、道の駅自体が目的地として選ばれるよう施設レイアウトの変更などによる特産品や土産物など地場産品販売スペースの拡充や魅力あるテナントの誘致などを進める。



湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

◆マイナンバーへの取り組みについて

質問 マイナンバーについてのトラブルが発生した際の対応について伺う。

答弁 速やかに市役所または国のマイナンバー総合フリーダイヤルに連絡いただくよう周知している。また、本市で修正対応が必要な場合には速やかに修正していく。

◆DXの進捗状況について

質問 ChatGPTの利用が進んでいるが、本市としての利用の取組を伺う。

答弁 個人情報や非公開の情報の入力を行わないことや、作成された文書等の内容の確認を徹底する。また、今後、AI技術の活用について研究を進めたい。

◆豪雪時の落雪事故防止について

質問 苦情・相談のある空き家の所有者・管理者に対する降雪期前の対策について伺う。

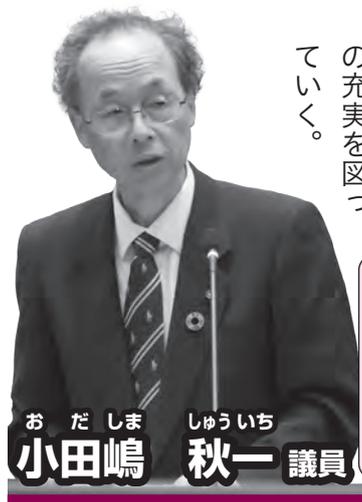
答弁 今年度から固定資産税納税通知書にチラシを同封し、空き家の適正管理をお願いと解体助成金について周知しているほ

か、毎年、降雪期前の広報紙へ注意喚起の記事を掲載している。

◆ICTを活用した授業の実施状況について

質問 授業でChatGPTの利用はあるのか伺う。また、利用についての問題とその対策について伺う。

答弁 児童・生徒による利活用は当面想定していない。問題点としては、ウェブ上の誤った情報を出力したり、入力した個人情報やプライバシーに関する情報が流出したりする危険性がある。対策として、ウェブ上のビッグデータを精査し、取捨選択する力や情報モラルを習得させ、今後も引き続き教職員への指導と研修の充実を図っていく。



お だ し ま しゅういち 小田嶋 秋一 議員



湯沢市議会 ユーチューブチャンネル
一般質問の動画をご覧になれます。

一般質問

◆市町村合併の効果について

質問 平成17年3月の市町村合併に当たり新市将来構想に掲げた7項目の合併効果について伺う。

答弁 湯沢市まちづくり計画に基づき、合併によるスケールメリット、行政サービスの向上、行財政運営の効率化、自立と協働のまちづくり等の事務事業により一定の効果があった。

質問 市町村合併から18年が経過したが、いまだに旧市町村ごとに取り扱いが異なる事務事業について、その内容等を伺う。

答弁 流雪溝運営に伴う電気使用料金について、市が全額負担する地域と住民が一部負担する地域がある。また、消防団施設の用地提供者への対応において、用地使用に係る対価の違いがあるなど、ほかにも取り扱いが異なるものがあり、必要な調整や見直しを行っていく。

質問 消防関連施設の提供用地に対する固定資産税賦課についてどうなっているのか伺う。

答弁 用地提供者の固定資産税

は課税免除として扱うべきであるが、徹底されていない。

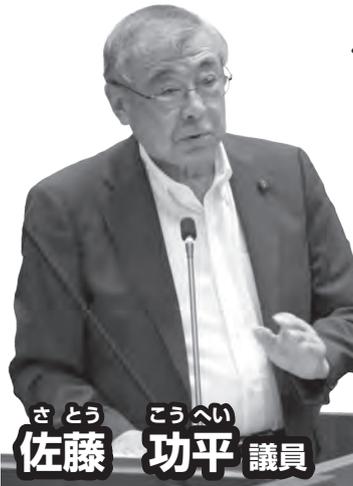
質問 市町村合併の主な目的は地域の人々が等しく行政の恩恵にあずかる事と思うが見解を伺う。

答弁 等しく同じ恩恵を受けられるということが基本であると考えている。

◆ゼロカーボン推進に向けた取組について

質問 市内事業者に対する脱炭素支援とGX推進について伺う。

答弁 省エネ設備の導入事業に活用できる『ふるさと企業振興補助金』があるが、今後策定するゼロカーボン推進計画に反映させていく。



さとう こうへい 佐藤 功平 議員

◆地球温暖化対策事業について

質問 脱炭素社会に向けたGXの推進について、市内事業所や経済団体などと連携し、地域ぐるみで取り組むべきと考えるが見解を伺う。

答弁 庁内各部署における市民サービスや事業者への支援に関する課題を整理し、ゼロカーボンシティ宣言を共同で行った市議会や商工2団体と議論を重ね、今後策定する推進計画に反映したい。

◆ゆざわジオパーク事業の推進について

質問 ユネスコ世界ジオパークの認定に向けた活動を伺う。

答弁 海外のユネスコ世界ジオパークとの交流・連携や世界ジオパークネットワークの国際会議への貢献、国際交流員や専門分野の人材確保、それに応じた費用負担など、乗り越えなくてはならないハードルも高いと認識している。市民のジオパーク活動に対する関心度を向上させる取組と周知・啓発活動を優先し進めていく。

◆山田地区の学校再編計画について

質問 山田中学校統合によるス

クールバスの利用については、夏場は6キロメートル以上、冬場は3キロメートル以上が乗車対象であり、運行基準の根拠については文科省の基準もあるが、市独自で決められるのか伺う。

答弁 スクールバスの対象範囲は、市独自に決定することが可能である。

質問 スクールバスの対象範囲は、行政区を単位としているが、行政区が3区に分かれている場合に、2区、3区は対象で1区が対象にならないケースがある。柔軟な対応ができないか伺う。

答弁 統合準備会等において皆様の考えを伺い、市として対応が必要な場合もあると認識している。



いしかわ りゅういち 石川 隆一 議員

一般質問

◆稲川野球場グラウンド等
整備改修工事について

質問 地質調査が必要ないと判断した理由を伺う。

答弁 既存の野球場の改修例において、設計時に地質調査を行わず施工しているとの報告を設計事業者から受け、これまでのグラウンドの使用状態を含めて検討し、地質調査を実施しないで設計作業をした。

質問 公共事業の場合、設計段階において、事前調査が必要である。今回の変更では、比較検討データが無い状態での変更処理となった。今後は、最低限の事前資料を参考に、対比可能な内容で設計することが必要と考えるが見解を伺う。

答弁 御指摘について、石橋をたたいて渡るといふこと、また、たたいた石橋をもう一度たたいて、そして、専門家の意見についても考え方が狭くならないように、様々な見地の立場の方の意見を伺いながら総合的に捉え、今後このようなことがないように努めていく。

◆通学支援について

質問 安全安心の通学手段として、スクールバス支援を早急に取り組む必要があると考えるが見解を伺う。

答弁 令和元年度に策定し、令和10年度までを計画期間とした湯沢市学校再編計画において、令和3年・4年の本市における出生数が150人を下回るなど、将来的に児童・生徒の減少が見込まれることから、計画の見直しの必要性を認識しており、スクールバス乗車対象の基本方針や通学用定期券等交付規定についても、本計画と併せて見直しを検討する。



◆賑わいの創出と
活性化策について

質問 湯沢駅周辺複合施設整備事業における賑わいの創出策について伺う。

答弁 民間事業者のアイデアやノウハウにより市民サービスを向上させる。また生涯学習センター及び青少年ホームは解体後、多目的広場として整備し、複合公共施設や商店街との回遊性を図り、中心市街地の賑わいを創出する。

質問 地域おこし強力隊については台湾出身の方を1名採用したことから、今後の交流に期待が掛かるが見解を伺う。

答弁 今年度から台湾との交流に前向きに取り組んでおり、積極的に情報を発信しながら交流の幅を広げていきたい。

質問 秋田キャラバンミュージックフェスの開催について伺う。

答弁 開催の際は音楽のまち“ゆざわ”をPRしたいと考えており、開催団体や関係機関に様々な条件を確認し、開催につ

いて検討していきたい。

◆デジタル変革推進事業について

質問 本事業の課題と今後の事業展開について伺う。

答弁 専門技術を有する人材の確保、職員の能力向上が課題であり、外部の専門人材の確保と職員研修等により全体のスキルアップと意識改革に取り組む。

◆除排雪について

質問 県で管理している国道398号線について、(通称)稲庭バイパス完成後の除雪対応はについて伺う。

答弁 現在県側と協議中であるが基本的には市の除雪計画にのっとり進めていく。地域の方々には丁寧に説明をしながら取り組む。



一般質問

◆マイナンバーカードについて
質問 マイナンバーカードにひも付けされる情報の種類について伺う。

答弁 マイナンバーカードで確認できる住所、氏名、生年月日、性別のほか、健康保険証や健康・医療、税の賦課や所得、年金、子供・子育て、世帯情報、福祉・介護情報、雇用保険・労災情報の7分野29種類となっている。

◆水稲新品種「あきたこまちR」について

質問 令和7年度から一般作付け開始が予定されている。この品種はどのような特徴を持った米なのか伺う。

答弁 現在のあきたこまちに比べ、カドミウムの吸収性が極めて低い。栽培管理方法はあきたこまちと基本的に同等である。

質問 あきたこまちRは放射線育種との交配種であることが不安視されているが、安全性について伺う。

答弁 放射線育種によりカドミウム吸収性が極めて低いコシヒカリ環1号とあきたこまちを交配して得られた個体に、選抜を繰り返しながら、あきたこまち

を七代にわたって戻し、交配して育成した品種である。放射線育種の手法は、育種の最初の段階で放射線を照射して突然変異を起こさせたもので、米に放射性物質が残ることはなく安全性には問題がないと認識している。

質問 あきたこまちRは、人間にとって必須の栄養素であるマンガンも吸収しにくく、子どもの成長には欠かせないミネラルの不足による長期的な健康被害が心配されるがどう考えるか伺う。

答弁 成長に必要な栄養素にマンガンは欠かせない。確かに影響する可能性は否定できないが、栄養分の吸収は米だけでなく他の農作物からも十分取ることができ



令和5年8月臨時会概要

8月16日に臨時会が開催され、一般会計補正予算について審議が行われ、原案どおり可決しました。

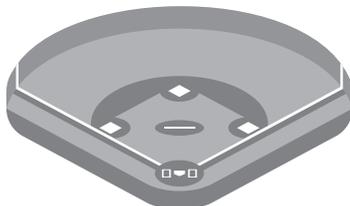
○提出議案：委員会審査（1件）

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第103号	令和5年度湯沢市一般会計補正予算（第5号）	予算決算	原案可決

◆ 補正予算の事業 ◆

▽体育施設改修等事業（生涯学習課）

稲川野球場グラウンド等整備改修工事において、路床の支持力（硬さ）が人工芝舗装の基準に満たないことが判明したため、必要な硬さを確保する路床改良工事及び現場の精査から老朽に伴い新設が必要な給水管や通路の舗装補修等を追加するための経費



4, 205万3千円
 （補正後 3億7, 440万7千円）

議案審議

ここでは、可決（同意）された主な議案や補正予算の主な事業などについてご紹介します。

●湯沢市温泉保養施設条例
 稲川老人福祉センター緑風荘及び介護予防拠点施設を機能再編するにあたり、リフレッシュ交流センター「ほっと館」と設置



条例の制定

●人権擁護委員候補者の推薦
 阿部裕子（皆瀬）



人事案件

8月30日から9月22日までの24日間の会期で第3回定例会が行われました。開会日に、佐藤市長から市政報告が行われ、令和4年度決算認定3件を中心に条例案4件、人事案1件、当局議案2件、議会議案1件、令和5年度補正予算案10件、陳情3件について審議しました。

目的等を統一し、両施設を新たに温泉保養施設として一体的に運営していくため条例を制定するもの
 これに伴う関係条例の廃止については、本条例の附則により規定



条例の一部改正

●湯沢市営野球場条例及び湯沢市陸上競技場条例の一部改正について
 市民サービス向上と経費節減を図ることを目的に、指定管理者制度により法人その他の団体が管理運営できるように一部改正を行うもの

●湯沢市立学校設置条例の一部改正について
 山田中学校の令和8年4月の湯沢南中学校への統合案について理解が得られたと捉えたことから、統合に係る所要の改正を行うもの



◆ 関係私企業との請負契約などの状況 ◆

湯沢市議会議員政治倫理条例等に基づく議員関係私企業との請負契約等及び請負単価契約の状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

◆ 関係私企業との請負契約など

- 1 請負契約等の状況（1件あたりの額が30万円を超えるもの）
 令和5年5月1日から令和5年7月31日までに締結したもの

〈関係する議員〉高橋 克己 〈請負人の氏名〉有限会社高橋ボデー整備 代表取締役 高橋克己

事業名	請負契約などの内容	請負契約などの金額	発注期日	納入期日など
車両管理費（稲川総合支所）	稲川総合支所 マイクロバスプレヒーター交換修繕	671,000円	令和5年7月26日	令和5年8月8日

- 2 請負等単価契約の状況（契約期間終了後における支払総額が30万円を超えるもの）
 令和5年4月1日から令和5年7月31日までに締結したもの 該当なし

令和5年度

一般会計 8億1,323万2千円の増額
 (補正後の予算総額は、308億2,048万5千円になります)

特別会計 4,207万6千円の増額
 (補正後の予算総額は、114億4,126万6千円になります)

◆ **補正予算の主な事業** ◆

【補正予算 第6号】

▽地域おこし協力隊事業

(まちづくり協働課) 354万5千円

三大都市圏等から湯沢市に移り住み、地域資源等の活用により地域の維持や地域の活性化を図る地域おこし協力隊を新たに委嘱するための費用の追加。

▽賦課徴収総務費

(税務課) 722万7千円

令和6年度から対応が必要な森林環境税(国税)を市が市県民税均等割と併せて賦課徴収するためのシステム改修のほか、市県民税納付書等を地方税統一QRコード(eL-QR)対応とするためのシステム改修に要する費用を追加。

▽金融対策事業

(商工課) 495万1千円

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により売上減少している市内中小企業者が、秋田県の融資制度を利用した場合に発生する利子を補給することにより、経営安定を図るための費用の追加。

▽観光情報発信事業

(観光・ジオパーク推進課) 1,076万3千円

台湾の一般消費者向けに東北旅行の魅力をPRするイベント「日本東北遊楽日2023 新・魅力再発見」に参加し、湯沢市の認知度向上を図り外国人旅行者の誘客促進を図るための費用の追加。

▽中学校施設管理費

(教育総務課) 1,093万1千円

令和6年度の学級編制見込みから、中学校2校で新たに特別支援学級教室が必要となり、当該教室へのエアコン設置費のほか、学校施設の修繕等に要する費用の追加。

▽湯沢文化会館施設整備事業

(湯沢文化会館) 2億6,749万2千円

「湯沢文化会館機能向上事業計画」に基づき、施設の経過年数や老朽化の状況から、基幹となる部位・設備の改修を行い、利便性向上を図るとともに、安全・安心で、施設運営に支障のない機能を確保するため、令和5年度と6年度にわたって改修工事を行う事業のうち令和5年度分の費用の追加。

《各会計補正予算》

会計名		今回補正予算額
一	一般会計	8億1,323万2千円
特別会計	国民健康保険	280万3千円
	後期高齢者医療	107万9千円
	介護保険	3,710万円
	養護老人ホーム愛宕荘	28万9千円
	皆瀬更生園	△10万6千円
	湯沢財産区	401万4千円
	院内財産区	△247万円
	秋ノ宮財産区	△63万3千円



改修が予定されている湯沢文化会館

【補正予算 第7号】

▽皆瀬診療所費

(皆瀬診療所) 446万5千円

▽皆瀬診療所医師住宅管理費

(皆瀬診療所) 28万3千円

令和5年 第3回定例会 議決結果一覧表

○提出議案(26件)／8月30日、9月1日、9月22日上程 9月1日、9月22日議決

▼付託省略（2件）

番 号	件 名	議決結果
議案第104号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同 意
議会議案第1号	稲庭うどん振興条例の制定について	原案可決

▼教育民生常任委員会 審査（4件）

番 号	件 名	議決結果
議案第105号	湯沢市温泉保養施設条例の制定について	原案可決
議案第106号	湯沢市宮野球場条例及び湯沢市陸上競技場条例の一部改正について	原案可決
議案第121号	工事請負変更契約の締結について（稲川野球場グラウンド等整備改修工事）	原案可決
議案第122号	湯沢市立学校設置条例の一部改正について	原案可決

▼産業建設常任委員会 審査（2件）

番 号	件 名	議決結果
議案第107号	湯沢市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第108号	字の区域の変更について	原案可決

▼予算決算常任委員会 審査（13件）

番 号	件 名	議決結果
議案第109号	令和5年度湯沢市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第110号	令和5年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第111号	令和5年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第112号	令和5年度湯沢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第113号	令和5年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第114号	令和5年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第115号	令和5年度湯沢市湯沢財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第116号	令和5年度湯沢市院内財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第117号	令和5年度湯沢市秋ノ宮財産区特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第118号	令和4年度湯沢市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
議案第119号	令和4年度湯沢市水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決 及び認定
議案第120号	令和4年度湯沢市下水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決 及び認定
議案第123号	令和5年度湯沢市一般会計補正予算（第7号）	原案可決

○陳情（3件）

※は賛否が分かれたもの

▼教育民生常任委員会 審査（2件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第24号	学校部活動の地域移行に関する陳情書	不採択
陳情第35号	ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	採 択

▼産業建設常任委員会 審査（1件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第27号	米余りを解消し、食料自給率を高めるために水稻収穫量調査の基準見直しを求める陳情	不採択

○決議案（3件）

番 号	件 名	議決結果
決議案第1号	「地域防災力の向上に関する提言書」提出に関する決議	原案可決
決議案第2号	「少子化対策に関する提言書」提出に関する決議	原案可決
決議案第3号	「ゆざわジオパークに関する提言書」提出に関する決議	原案可決

○意見書案（2件）

番 号	件 名	議決結果
意見書案第5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書	原案可決
意見書案第6号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	原案可決



総括質疑

9月11日、令和4年度の決算について、予算決算常任委員会の総括質疑が行われ、湯和会・公明、政和会、湯沢政策研究会からそれぞれ1人が会派を代表して質疑を行い、令和4年度各予算の決算の内容についていただきました。ここでは、質疑の内容の一部を抜粋して掲載します。



「湯和会・公明」
佐藤 愛子 委員



■ふるさと納税推進事業について

質疑 ふるさと納税のサイトは10件も必要なのか伺う。縮小し、例えば商品開発や湯沢の魅力の紹介ページを濃くするなどプラスアルファで活用できないか伺う。

答弁 サイトを増やすことで広く寄附の内容を見られるようにすることが大切と考える。今年度初めての試みでこれまでの寄附者に対し、日頃の御礼と年末調整のPRに向けたお願いの葉書を出すため現在準備を進めている。

■結婚サポート事業について

質疑 今の若い世代の人達には直接人と会って話すのが苦手な人も多いようなので、ゲーム感覚を取り入れたコミュニケーション世界の中で結婚に意識を持たせていくようなシステムはどうか伺う。

答弁 アバターを使った仮想空間での婚活イベントを今年度から実

施する予定。婚活イベントに参加してもらうことが非常に高いハードルと捉えており、仮想空間を使うことでより積極的に、より多くの方々が利用・参加しやすい形で実施したいと考えている。

■湯沢の魅力情報発信事業について

質疑 わらび座フレンドリータウン協定を結んだ効果はあったのか伺う。

答弁 相互の魅力発信に関しては一定の効果はあったものと考えているが、その他の取組はまだ実施できていない。今後、相互に連携協力できる取組について協議していきたい。

■重層的支援体制整備事業（障がい支援）について

質疑 支援が必要な方でも自分から相談できる方は少ないと思う。相談しやすいようホームページ等の相談支援の案内に、写真やイラスト、実体験談を掲載できないか伺う。

答弁 必要な支援を届けるためにはアウトリーチ支援が非常に重要だと考える。市としては他機関と連携してそのような方の状況を確認し合いながら、民生委員をはじめとした地域の方のご協力をいただき引き続き支援に当たりたいと考えている。市民への周知も重要だと考えるので掲載内容について

も検討していく。

■子ども・子育て訪問事業について

質疑 産前・産後家事ヘルパー事業は今後もっと必要になっていく。申請窓口実際に利用できることとできないことや、実際に利用した方の声を載せるなど周知活動に力を入れるべきと考えるが見解を伺う。

答弁 母子手帳交付の際や出生届時などあらゆる機会を利用して事業の周知を図っている。利用した方から好評を得ており、口コミも広がっている。今後も支援が必要な方に利用していただけるよう周知していく。

■高齢者等雪対策事業について

質疑 老後も安心して住み続けられる湯沢市であって欲しいため申請が困難な高齢者等に対する事前の声掛けなどの対応について伺う。

答弁 市広報等への折込みチラシのほか、前年度の登録者に対して個別に勧奨通知を送っている。また民生委員の方や在宅介護支援センターに対し、呼び掛けや書類提出の補助協力を依頼するなど利用申請を忘れないように周知を図っている。本人による申請が困難な場合は、代理申請や郵送による受付も行っている。

総括質疑

〔政和会〕

高橋 克己 委員



■ビジネス支援センター事業について

質疑 相談者の売り上げ向上総額が1億7千8百万とあるが、最高額、最低額について伺う。

答弁 この額は開設当初からの総額で、最高額8千万、最低額3千円となっている。

質疑 相談者の中で新規雇用があった企業数と人数について伺う。

答弁 2社から合計4名の雇用があったことが報告されている。

質疑 相談者の事業決算書の確認はされているのか伺う。

答弁 行っていない。

質疑 昨年度作成した事業評価レポートと同様の形式で今後も評価を行っていくのか伺う。

答弁 基礎的な部分として同様の

形式で行っていく予定である。

質疑 事業評価レポートは文章が多く、抽象的な内容が大部分を占める。大変評価しにくい、対処策はあるのか伺う。

答弁 できるだけ数値化し、経営評価を行い相談実績、リピート率、満足度等による二ーズ評価、連携する商工、金融機関からの意見把握を行い総合的に判断する必要があると考える。

質疑 評価を見える化できるように、点数制度など合計点で判断できる分かりやすい仕組み作りが必要と考えるが見解を伺う。

答弁 評価の見える化は、市民の方々にこうした事業を行っているということをオープンにする重要なことであり、早急に着手し議会に提示したい。

■有害鳥獣対策事業について

質疑 昨年度の被害状況について伺う。

答弁 熊、イノシシ、カラス類による農業被害は、面積26・35ha（実損面積2・65ha）被害額144万6千円となっている。

質疑 熊、イノシシの捕獲頭数に

ついて伺う。

答弁 熊は有害駆除のみで9頭、イノシシは有害駆除1頭、狩猟捕獲15頭で計16頭となっている。

質疑 耕作放棄地などが増え、山と住宅地がつながり市内でも熊の出没が後を絶たない。対策は考えているのか伺う。

答弁 熊と遭遇しないために、ラジオを鳴らすなど、人間がいるというアピールをする事が大事と考える。

質疑 放射能の問題で県ではジビエの解禁をしていない。8月17日魁新聞紙上に国ではジビエの振興を推進していく内容が記載されていた。この件について確認しているか伺う。

答弁 内容は確認しているが、県から正式に通知などは来ていない。

質疑 ジビエの解禁について早急に対応を県に要請するべきと考えるが見解を伺う。

答弁 解禁の障害となるセシウムへの対策は長期の対応が必要であり、当面、解除は期待できないと考える。

〔湯沢政策研究会〕

藤田 健志 委員



■地域医療確保対策事業について

質疑 現在の湯沢雄勝医療圏における医師数と今後の目標数を伺う。

答弁 現在、医療施設においては、74人であり、目標数は83人である。

質疑 医師や医療従事者不足を解消するための方策を伺う。

答弁 医師会との意見交換の場である「医療行政懇談会」での意見より、10代に対して、医療業務の魅力を知ってもらう工夫を検討していく。

質疑 公的医療施設整備補助金の内容について伺う。

答弁 血管造影X線診断装置の更新事業への補助である。

質疑 約8900万円の補助を行い、高度医療機器を導入した成果を伺う。

答弁 他の病院へ搬送せずに、雄勝中央病院での緊急処置等が可能な患者が増加し、地域医療の高度化が図られている。



教育民生常任委員会 主催

出張!! なんでも意見交換会

市役所若手職員



教育民生常任委員会

今回の「議員と語り合おう 出張!! なんでも意見交換会」は、湯沢市役所若手職員の皆さんに

「湯沢のライフスタイル」

について語っていただきました。

8月25日 市役所4階会議室において、「湯沢のライフスタイル」について、市役所の若手職員13人と議員との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、休日の過ごし方や湯沢市をより良くしていくために足りないと感じるものや必要と感じるもの、議会（議員）と一緒にやりたいことや取り組んでいきたいこと、などについて忌憚のない意見を多くいただきました。

特に、子育て環境や支援に対する意見が多く出され、天候や気温に左右されずに子どもを長時間遊ばせられる屋内施設の整備を望む意見や駅周辺に建設が予定されている「子育て支援センター」へ期待する声がありました。また、若い世代に湯沢市に住んでいただくためには、学生や若者が気軽に集えるような場所を増やすことや、住宅や住環境の整備にも力を入れていく必要があると感じました。

議会（議員）と一緒に取り組んでいきたいことについては、子育て支援の充実についての施策の検討で、3人目以降の出産に対してインパクトのある支援策や、出産祝い品として、より市民のニーズに对应えられるような湯沢市版カタログギフトの提案、子育て支援への申請漏れを防止するために出生届を提出した段階であらゆる支援が紐づけで受けられるような仕組みづくり、など様々な意見が出され、市の子育て支援に関し、市職員としても積極的に取り組



終始、和やかな雰囲気の中で行われました

んでいきたいという姿勢と更なる充実の可能性を感じました。

教育民生常任委員会では、「子育て」を課題テーマとし、政策に対する検討・協議を重ね、9月定例会において、「少子化対策に関する提言書」を市長に提出しました。（2ページ参照）若い世代の転出に歯止めをかけ、ずっと住みたいと思ってもらえる魅力あるまちの実現に向けて、議員と職員間で平日頃から意見交換できるような関係性を築いていくとともに、協力して湯沢市を盛り上げていきたいと考えております。

申し込みによる

出張!! なんでも意見交換会を開催しました

7月20日 北都銀行湯沢支店において、若手行員と産業建設常任委員とで「市内事業所に対するGX推進施策について」をテーマに意見交換会が行われました。

市では「ゼロカーボンシティ宣言」により2050年までに市内の二酸化炭素の排出量を実質ゼロを目指す中で、市民・事業者・行政が一体となり施策を進める必要があります。

意見交換では、地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業が提案され、行員からは「脱炭素化に取り組むことで、環境だけでなく産業振興、地域経済の活性化にもつながる面がある」といった意見が出されました。

産業建設常任委員会では、産業振興にもつながる点を重視し、今後において進めるべき方向性について確認することができました。

なお、この意見交換会を踏まえ、第3回定例会の一般質問において、2名から関連する質問がされました。



北都銀行湯沢支店
明日の湯沢を考える会の皆さん
(産業建設常任委員会)



挨拶する
石川産業建設常任委員長

議会からのお知らせ

▽予算決算常任委員長の変更

8月30日付けで委員の互選により、高橋克己議員が新たに予算決算常任委員長になりました。(8月30日現在)



▽会派構成の変更

8月21日、「政和会」会派構成に変更がありました。内容は、左表のとおりです。

【政和会】	
代表	高橋 克己
副代表	沓澤 正雄
幹事長	石川 隆一
事務局長	寺田 純二
会計	小田 嶋秋一
(8月21日現在) 5人	

▽所属会派の変更

加藤 昭嗣 議員
新・・・無所属 旧・・・政和会

▽議員の名札を川連塗で作製

市職員が着用している川連塗の名札について、議会においても統一して使用することで、地場産業の振興等につながることを期待し、議員互助会で費用を出し合い、名札を作製しました。



今後の議会・議員活動において使用していきます

議会フォーラム2023を開催



7月8日（土）、議会の情報発信の場及び市民と議会との多様な意見交換の場として「議員としゃべろう マチトーク!! 議会フォーラム 2023 ～ゆざわの未来をデザインしよう!～」を開催しました。

湯沢市の未来が活気にあふれ、幸せや豊かさを実感できる魅力ある地域であるために、今やるべきこと、できることのアイディアを、ワールド・カフェ形式により、議員 17 名全員が 31 名の市民の皆さんと共に意見交換を行いました。

3つの問い

ラウンド1 (20分)

湯沢に住んでいて、いま自分が充実できている事・充実できていない事は何ですか？

小休憩／席移動

ラウンド2 (20分)

ずっと湯沢に住んでいくために、自分や自分の周りでこんな事ができたら・こんな風になっていたらいいなと思う事は何ですか？

小休憩／席移動

ラウンド3 (20分)

そのために、いま湯沢市議会に取り組んでもらいたい事、また、湯沢市民とも一緒に取り組めそうな事は何ですか？

話し合いを振り返る



第1部で、渡部議長と3常任委員会の委員長から、議会活動報告が行われました。

8グループに分かれて第2部のワールド・カフェがスタート! 議員が班内ファシリテーター役となり、3つの問いについて対話を深めました。





受付で特製バッジ（名札）を作成



各テーブルに分かれてスタート

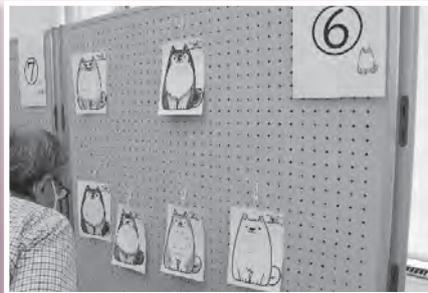


昨年度のファシリテーター 長内 紳悟氏が
かけつけてくれました



多くの意見を出していただきました

ワールド・カフェを振り返っての感想や意見、アイデアやこれからの自分に向けてなど、それぞれの考えや思いをセタにちなんで“短冊”に書き込みました。その後、短冊を掲示し、みんなで共有しました。



議会フォーラムを終えて・・・

8月16日（水）、広報広聴委員会を開催し、議会フォーラム2023のふりかえりを行いました。各班のファシリテーターを務めた議員も参加し、左記の内容について議員間討議を行いました。

各班で出された意見やアイデアを共有しましょう。

20分

市民との対話によって議員が気付いたことや感じたことを共有しましょう。

20分

気付いたことや感じたことを、これからの市議会の取り組みにどう反映させますか。

20分



●**京都府亀岡市「議会改革の取組について」**

視察事項である「通年議会」につ

いて、亀岡市議会では、定例会方式に沿って運用すること、閉会期間を設定し効率的な議会運営を考慮することを念頭に、従来の議事運営を大きく変更せず通年議会を実施できるパターンを選択したと説明を受けた。定例会を開いていた月を基本に議会期間として会議を再開し、以外は休会とする手法である。主なメリットは、行政課題に対し議長の判断で速やかに会議を再開できる。専決処分を減らすことができる。早期に審議議会を確保できる点が挙げられ

た。

また、「一般質問の充実への取組」や「常任委員会のネット配信」についても、事務事業評価の実施、本会議の休日開催、議会報告会等の開催、文書質問の導入、フェイスブックの運用や未成年を対象とした模擬議会の開催など、幅広い取組について説明を受け、非常に参考となった。

本市議会での取組と近似した内容もあり、議会活動を充実させる取組において、本市議会の現在地を再確認することができた視察となった。



▲亀岡市「亀岡市役所」



▲「亀岡市議場」

●**兵庫県明石市「明石市子ども総合支援条例について」他**
●**岡山県奈義町「奈義町子育て支援(奈義モデル)について」他**

◎**明石市** 『子どもは未来』をまわりの基本方針に掲げ『明石市子ども総合支援条例』を制定しており、『子ども施策に力を入れると、経済も良くなる』との考えから独自の『5つの無料化』を実施している。子育て世帯の転入が増えることで、人口や賑わい、税収が増え、さらに新たな市民サービスが提供できるサイクルが確立されていた。子どもだけでなく、「誰にでもやさしいまちづくり」への推進を目指しており、本市でも将来を見据えて、戦略的に取り組む必要性を感じた。

◎**奈義町** 平成24年に『奈義町子育て応援宣言』を発表し、一貫した歳出削減と施策の見直しを繰り返して、学生への支援や住民参加型の体制づくり、経済的な支援など、20年かけ子育て施策を拡充してきた結果が現在に至っていることがうかがえた。奈義しごとえんでは、短時間のワーキング事業の『しごとコンビニ』を行い、働き手と仕事を結び付けることで地域との関わりや地域経済の循環にもつながっていた。町民同士で子育てを支えあう体制が整備されており大いに勉強になった。



▲明石市「明石市議場」



▲奈義町「奈義しごとえん」

北海道小樽市「第二次小樽市観光基本計画の概要ほかについて」
 北海道三笠市「ジオパークを活用した観光振興ほかについて」
 北海道千歳市「地域連携DMOについて」

●小樽市 小樽市は、観光に対する市民意識の向上をはじめ、観光資源の発掘・滞在時間の延長など課題克服のため、市民が観光まちづくりの主役となり、人情味あふれる小樽気質でお客様をお迎えする取組がされていた。本市も市民と一体となって観光推進が必要があると強く感じた視察であった。

●三笠市 三笠市は、湯沢市とほぼ同時期にジオパーク認定されている。年々入込数は増加しており、ジオツアーを企画してもすぐに定員を満たす状況。データ等を分析した上



▲小樽市「小樽市役所」



▲三笠市「三笠市立博物館」

での積極的な活動と地道なPR及びその裏にあるのは、ジオにかける熱量の伝播（人的要因）に他ならないと感じた視察であった。

●千歳市 千歳観光連盟は、平成29年11月に地域連携DMOとして発足。DMOの共通課題といえる「自立と継続」を主眼として、地域連携型における状況・現状を確認した。本市においても地域の魅力を発信し、地域の経済活動にも大きな原動力となるDMOの早期発足を期待したい。

岩手県奥州市「議会広報について(市議会だより・ラジオ・公式SNS)」
 秋田県横手市「コミュニティFM・SNSを活用した議会広報について」

●奥州市 当市議会の広報活動をより効率的かつ活発化の推進を目的に、広報ツールであるラジオ、SNS等を活用した広報活動に注力されている奥州市の行政視察を行った。

●横手市 広報活動の中でコミュニティFMの活用として、リアルタイムの情報発信と共有機能が充実しているSNSをフル活用することにより、フォローワーの拡大と効率的な情報発信につながっている点は、今後の広報活動において参考となる視察であった。



▲奥州市「奥州市役所」



▲横手市「横手市交流センターY2ぷらざ」

ティFMの活用を模索するうえで、先進地である横手市において行政視察を行った。

横手市では東日本大震災発生時の「さいがいFM」から運営がスタートしており、現在は「チーム横手市議会」として、情報提供のほか、リスナーを意識した番組、市民参加による番組等の制作に取り組んでいます。

今後も近隣市町村議会と切磋琢磨しあい、広報活動に取り組んでいきたい。

議会のうごき

7月・8月・9月

- 7月3日 教育民生常任委員会行政視察(～5日、兵庫県明石市、岡山県奈義町)
- 7月4日 産業建設常任委員会委員協議会
- 7月8日 議会フォーラム2023
- 7月12日 産業建設常任委員会行政視察(～14日、北海道小樽市、三笠市、千歳市)
- 7月19日 行政視察受入れ(大阪貝塚市議会)、総務財政常任委員会委員協議会、広報広聴委員会
- 7月20日 令和5年度第1回秋田県市議会議長会定例会(潟上市役所)、出張!!なんでも意見交換会 北都銀行「明日の湯沢を考える会」(産業建設常任委員会)
- 7月26日 会派説明、秋田県市議会議長会実行運動(東京都)
- 7月27日 議会運営委員会行政視察(～28日、京都府亀岡市)、広報広聴委員会行政視察(岩手県奥州市、秋田県横手市)
- 8月1日 8月期 月イチ🍌オンラインミーティング、第3回議会改革推進研修会(総務財政常任委員会)
- 8月2日 第3回議会改革推進研修会(教育民生常任委員会)・(産業建設常任委員会)
- 8月2日 教育民生・産業建設常任委員会委員協議会
- 8月7日 全員協議会
- 8月9日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会8月臨時会
- 8月10日 議会運営委員会
- 8月15日 湯沢市戦没者追悼式、令和5年度湯沢市二十歳を祝う会
- 8月16日 8月臨時会、全員協議会、予算決算常任委員会全体会
- 8月17日 教育民生常任委員会委員協議会
- 8月23日 会派代表者会議
- 8月24日 議会運営委員会
- 8月25日 議会改革推進会議産業建設分科会、産業建設常任委員会委員協議会、出張!!なんでも意見交換会(教育民生常任委員会)
- 8月30日 本会議(開会)、全員協議会、議員全員協議会、議会運営委員会、予算決算常任委員会全体会、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会所管事務調査及び委員協議会
- 8月31日 9月期 月イチ🍌オンラインミーティング
- 9月1日 本会議(質疑・付託・採決)、教育民生常任委員会委員協議会、議会改革推進会議全体会
- 9月6日 本会議(一般質問)、広報広聴委員会
- 9月7日 本会議(一般質問)、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟役員会
- 9月11日 予算決算常任委員会全体会(総括質疑)、全員協議会、議会改革推進会議全体会
- 9月12日 予算決算常任委員会分科会(決算審査)
- 9月13日 予算決算常任委員会分科会(補正予算)、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会、産業建設常任委員会委員協議会
- 9月19日 予算決算常任委員会全体会
- 9月21日 議会運営委員会
- 9月22日 本会議(採決・閉会)、予算決算常任委員会全体会、全員協議会、議員全員協議会、教育民生・産業建設常任委員会委員協議会
- 9月28日 第1回秋田県南市町村議会議長連絡協議会(横手市)

議長交際費(7月・8月・9月)

支出区分	内 訳	件数・個数	金額(円)
祝金		0	0
寸志		0	0
会費	秋田県南市町村議会議長連絡協議会会費 ほか	3	25,000
弔慰		0	0
見舞		0	0
賛助		0	0
接遇	大阪府貝塚市議会来湯時の歓迎酒代	1	1,590
印刷	議長名刺代	1	3,850
合計		5	30,440

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

12月定例会の日程(予定)

12月4日	本会議 開会(議案上程、提案理由説明)
12月6日	本会議 (議案質疑・付託、請願・陳情付託)
12月11日	本会議 一般質問
12月12日	本会議 一般質問
12月13日	(一般質問 予備日)
12月14日	常任委員会・分科会
12月15日	(常任委員会・分科会 予備日)
12月19日	予算決算常任委員会(全体会)
12月22日	本会議(採決) 閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の提出締切は11月28日(火)午後5時

■議会傍聴

●本会議や委員会は当日の受付で、どなたでも傍聴することができます。開催当日、市役所本庁舎4階の議会事務局窓口までお越しください。

■議会中継

●本会議の様様を湯沢市議会ユーチューブチャンネルでインターネット配信(ライブ・録画)をしていますので、ご覧ください。



秋田県湯沢市議会

ユーチューブチャンネル



編集後記

11回目を機に、会場を稲川地域に移して「全国まるごとうどんEXPO」が開催され、大いに賑わった。9月定例会において「稲庭うどん振興条例」の制定案が議員発議により提案され、全会一致で可決された。今回の開会式セレモニーにおいて、この条例が華々しく披露された。今後、国内外の観光客の更なる誘客を期待する上で、この「稲庭うどん」は、無くてはならない地場産業の一つ。郷土の誇りとし、脈々と受け継がれてきたこのうどんを守り育て、後世にしっかりと受け継いでいかなければならないと改めて強く感じている。

(藤田健志記)

広報広聴委員会

委員長 藤田 健
副委員長 佐藤 愛
委員 佐藤 勝
委員 寺田 純
委員 小田嶋 秋
委員 高橋 達